

歌川 国芳 浮世絵ぬり絵シリーズ ④

水口
昔高嶋といふ所に百姓の娘大井子といふ大力の女あり 力ある事を恥て常には出さず 農業の間には馬を牽 旅人を乗て活業とす 折節田に水をまかする頃 村人大井子と水の事を論じ 女と侮り彼が田へ水のかからぬやうにせしかば 大井子憤りてある夜六七尺四方なる石を持ち来り かの水口に置けり 夜明て村人おどろき数人にて取らんとすれど中々動ず悩みに 大井子が仕業ときき 詮方なく種々侘けるゆへ 彼大石をかるがると引退けり 大力におそれて水論は止けるとぞ 今に此地に水口石とて残りける也

東海道
五十三對

水口
昔高嶋といふ所に百姓の娘大井子といふ大力の女あり 力ある事を恥て常には出さず 農業の間には馬を牽 旅人を乗て活業とす 折節田に水をまかする頃 村人大井子と水の事を論じ 女と侮り彼が田へ水のかからぬやうにせしかば 大井子憤りてある夜六七尺四方なる石を持ち来り かの水口に置けり 夜明て村人おどろき数人にて取らんとすれど中々動ず悩みに 大井子が仕業ときき 詮方なく種々侘けるゆへ 彼大石をかるがると引退けり 大力におそれて水論は止けるとぞ 今に此地に水口石とて残りける也

東海道
五十三對



東海道五十三對 水口

《團扇の文》
昔高嶋といふ所に百姓の娘大井子といふ大力の女あり 力ある事を恥て常には出さず 農業の間には馬を牽 旅人を乗て活業とす 折節田に水をまかする頃 村人大井子と水の事を論じ 女と侮り彼が田へ水のかからぬやうにせしかば 大井子憤りてある夜六七尺四方なる石を持ち来り かの水口に置けり 夜明て村人おどろき数人にて取らんとすれど中々動ず悩みに 大井子が仕業ときき 詮方なく種々侘けるゆへ 彼大石をかるがると引退けり 大力におそれて水論は止けるとぞ 今に此地に水口石とて残りける也

制作: 5年 2月4日

作者名 (ニックネーム)	参考出品
-----------------	------

ご応募の際は 忘れずに 裏面に 住所・氏名をお書きください